

# “多様性の結束” 国際政治フォーラム

## — 京都から平和創造へのメッセージ —

(多様性の結束への誓い)

2015年11月5日

京都市 大道 義知

イタリア共和国のフィレンツェ市で、「多様性の結束」をテーマに世界約60都市が参加して開催された「平和と人権施策推進のための国際政治フォーラム」において、門川大作京都市長に代わり京都市を代表して参加し、平和文化の創造と歴史遺産の保存継承等に関して以下の通り、スピーチを行いました。(会議では、日本語をイタリア語に通訳)

### <平和を創出する視点>

「多様性の結束」に集われた世界市民、地球市民の皆様、こんにちは！

フィレンツェ市と間で50年もの長きにわたり、姉妹都市交流を続けている日本の京都からはるばる参りました。京都市議会副議長の大道義知(だいどう よしとも)でございます。本日は、ジョルジュ・ラピラ第2代フィレンツェ市長が提唱された「世界平和へ、各都市が各々の使命を果たすべき」との崇高な理念を受け継がれ、ここに具現化されたナルデラ現市長のリーダーシップのもとに、開催されるフォーラムにおいて、スピーチをさせていただく貴重な機会を与えて頂き、心から光栄に存じております。

平和の世紀を希求され世界市民、地球市民として、500人大広場に集われたすべての皆様に感謝いたします。

平和は、民族、国家、国境を越え、人類の願望であります。

平和は、「維持」されなければなりません。平和が破壊されれば速やかに「回復」しなければなりません。しかし何よりも大切なのは、未来に向かって平和文化を創造することにあります。

私たち京都市民は、全世界の人々が、人権・宗教・社会体制の相違を超えて、平和のうちに自由につどい、自由な文化交流を行うことを理念とする「世界文化自由都市」を都市の理想像に掲げています。京都のまちが、戦禍に合うことなく1000年以上もの長きにわたり生き続けてきたのは、歴史的にも国内外の多くの文化を吸収し、昇華させてきたからに他なりません。その結果、日本の「文化首都」として、今も「心のふるさと」と誰もが認める都市格を

持ち続けています。こうした文化都市・京都の主役は、昔も今も「町衆」という市民のチカラであることは論をまちません。

平和文化の創造と、平和都市を構築するにあたり、「都市のため」ではなく、どこまでも「民衆」による「民衆」のための「都市」づくりでならないことを、まず皆様とともに認識を共有したいと思います。

### <文化都市に向けての取組>

今、シリアをはじめ中東地域において文化遺産を破壊するテロが相次いでいます。

文化を破壊することは、歴史への反逆行為であり、平和・人権への挑戦であります。

先日、レンツィ首相が京都へお越しになった際の講演で、「文化を攻撃するテロが相次ぐなか、文化を過去の歴史遺産ではなく、現在を生き、未来へ向かう指針にすべきである」と述べられました。

京都は、長い歴史のなかで培われてきた町衆のチカラにより、まち全体が世界遺産や文化財として、その歴史的価値を現代に伝えています。

寺社・仏閣をはじめとする歴史的な町並みの保存と、緑や川などの自然景観の保全を重視しながら、最近では、さらに建物の高さ制限や屋外広告物の独自規制する「景観条例」等による進化する都市計画の推進で、より一層都市の持つ文化力を高める努力を進めています。

また、「世界の京都・まちの美化市民総行動」で、ゴミゼロの美しいまちの実現を目指しています。

### <多様性を提供する国際都市・京都>

こうして創造される都市の魅力は、必然的に人の交流を促し、都市間交流にはずみをつけることになり、国際都市として「多文化の共生」の都市空間を創出します。京都市では、フィレンツェ市をはじめ、キエフ、西安、ザグレフ等9都市と姉妹都市を結び、さらに、イスタンブール等、6つのパートナーシティを結んでおり、世界の都市とのネットワーク力を活かし、多文化の共生を図ってきています。

京町家や古い寺院が立ち並ぶ古くからの京都の特性と合わせて、文化芸術系の大学をはじめ多くの大学が立地する中、欧米・アジア・中東・アフリカと世界各国から留学生が集い、日本古来の歴史・伝統と現代の国際性が結びついています。

こうした京都の歴史文化が織りなす多様性が世界中から観光客を惹きつけ、都市の活性化につながっていると確信しています。

ありがたい事に、この程、世界的な有名旅行雑誌の「ワールドベストシティ」ランキング読者調査で2年連続世界第1位に選ばれ大変光栄に存じています。しなしながら、私たちはそれに驕ることなく、どこまでも世界の人々が京都で、異文化間の対話を促進し多文化の交流ができる舞台を私たちは提供したいと思っています。そのためも今後一層「多様性」と「開放性」と「寛容性」を有する都市を目指してまいりたいと決意をしております。

### <多様性の結束への誓い>

ひとつの点で円を描くことができます。2つの点で楕円を描くことができます。多くの都市の皆様とグローバルに点と点を結びながら、平和と人権の文化創造の大輪を共に描こうではありませんか。

私たち京都市民は、「文化を過去の遺産ではなく、未来への指針」とするために、「多様性の結束」に集われた地球市民の皆様とともに、「理想」と「責任」と「行動」を共有することをダヴィンチやガリレオを生んだこの地で誓い、京都市民を代表しての誓いといたします。ありがとうございました。